



厚生労働省

三重労働局

Press Release

報道関係者 各位

令和2年6月29日

【照会先】

三重労働局 労働基準部 健康安全課

健康安全課長 藤川 敏行

課長補佐 小西 勲

(電話) 059 - 226 - 2107

ワン・ツー・スリー  
7/1から「無災害1・2・3トライアル」の  
受付を開始します。

三重労働局（局長 西田 和史）は、『「チャレンジ アンダー2,000 みえ」無災害1・2・3トライアル』（以下、「無災害1・2・3トライアル」）の受付を令和2年7月1日から開始します。

「無災害1・2・3トライアル」は、令和2年8月1日から令和2年12月1日までの123日間の「事業場における労働災害ゼロ」にトライする運動です。多数の事業場の申込をお待ちしています。

**1 「無災害1・2・3トライアル」について（資料1）**

『令和2年「チャレンジ アンダー2,000 みえ」推進運動』の一環として、あらかじめ設定した安全衛生スローガンのもと、積極的に安全衛生活動を展開することにより123日間の「無災害」にトライする運動です。  
運動に参加し、無災害を達成した事業場は三重労働局特設ページに掲載し顕彰します。  
申込受付期間は令和2年7月1日から令和2年8月7日までです。

**2 「無災害1・2・3トライアル」参加資格について（資料1）**

- ◎三重県内の事業場であること。
- ◎申込日において、平成29年1月1日以降、死亡災害を、令和2年1月1日以降、休業4日以上の上の労働災害を発生させていないこと。
- ◎平成29年1月1日以降、司法処分や使用停止等命令を受けておらず、かつ、長時間労働等を起因とする精神障害又は脳・心臓疾患の労災認定事案を発生させていないこと。  
等が参加資格です。

**3 『令和2年「チャレンジ アンダー2,000 みえ」推進運動』について（資料2、3）**

三重県内の労働災害発生状況は、昭和55年の死傷者数7,762人をピークに、およそ5年ごとに1,000人ずつ着実に減少し、平成12年には3,000人を下回ることとなりました。  
しかしながら、その後、減少傾向に鈍化が認められ、令和元年までの実に20年間2,000人を下回ることができずにいます。  
このため、三重労働局では令和2年中に死傷者数2,000人未満（アンダー2,000）を達成

すべく、『令和2年「チャレンジアンダー2,000みえ」推進運動』の名称のもと、安全衛生推進運動を県内に広く展開しています。

#### 4 令和元年の三重労働局管内における労働災害の発生状況について（資料3）

◎令和元年の三重労働局管内の死亡者数は14人、休業4日以上之死傷者数は2,243人でした。死亡者数は前年度より17.6%・3人減少し、過去最少となりました。

一方、休業4日以上之死傷者数は0.6%・13人増加し、3年連続で前年より増加しました。

◎死亡災害について

○業種別

建設業（5人）、運輸交通・貨物取扱業（3人）の順となっています。

○事故の型別

交通事故・道路（5人）、墜落・転落（4人）、交通事故・その他（船舶など・2人）、おぼれ（2人）の順となっています。交通事故が全体の1/3以上を占めています。

○起因物別

乗物（4人）、環境等（4人）、動力運搬機（3人）の順となっています。

業務中の交通事故や高所からの墜落による死亡災害が多くを占めている状況にあります。

◎休業4日以上之死傷災害について

○業種別

第3次産業（924人）、製造業（653人）、建設業（294人）、運輸交通・貨物取扱業（279人）の順となっています。

第3次産業では、小売業（243人）、社会福祉施設（174人）、接客娯楽業（171人）の順となっています。

○事故の型

転倒（520人）、墜落・転落（392人）、無理な動作等（腰痛など・297人）、はさまれ・巻き込まれ（290人）の順となっていて、この3つの事故の型で全体の半数を占めています。

○起因物別

仮設物、建設物、構築物等（579人）、動力運搬機（238人）、用具（232人）の順となっています。

◎業種全体にわたり転倒災害、建設業及び運輸交通・貨物取扱業における墜落災害、製造業における機械災害などの休業4日以上之死傷災害が多くを占めている状況にあり、依然として、腰痛、熱中症などの労働災害も発生している状況にあります。

また、60歳以上の労働者の死傷者数が全体の25%以上を占めている状況にあります。

#### 【添付資料】

資料1 無災害トライアルパンフレット

資料2 『令和2年「チャレンジアンダー2,000みえ」推進運動』実施要綱

資料3 令和元年の三重労働局管内における労働災害の発生状況